

第2回IFAガールズゲーム 【大会要項】

1 名 称 第2回IFAガールズゲーム

2 主 催 (公財)茨城県サッカー協会

3 主 管 (公財)茨城県サッカー協会 第4種委員会
(公財)茨城県サッカー協会 第4種委員会女子部会

4 協 賛 (株)ミカサ

5 期 日 第1日目：5月31日(土)・第2日目：6月7日(土)

6 会 場 1日目：下館運動公園(茨城県筑西市上平塚639)
2日目：下館運動公園(茨城県筑西市上平塚639)

7 参加資格

- (1) チーム資格は、(公財)茨城県サッカー協会に「第4種」の種別で登録したチームであること。
- (2) 選手資格は、(公財)茨城県サッカー協会に「第4種」の種別で登録した選手で、上記チームで活動している女子小学生であること。
- (3) 引率指導者は、当該チームを掌握する責任ある指導者であること。
ベンチ入りするチーム役員の内1名以上がJFA公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有し、常時ベンチ入りできること。またCWO講習を受けたものがチーム内に1名以上有すること。
またベンチ入りする指導者、スタッフはJFA公認指導者ライセンスもしくは有資格者審判員を保有すること。
- (4) 出場選手は、スポーツ障害保険に加入済みのこと。また、本大会の参加について保護者の同意を得ていること。

8 参加チーム ×チーム

原則としてチーム構成は、引率指導者3名・選手20名以内とする。

9 競技方法

- (1) 1日目は×グループ(×チーム)に分けて行うリーグ戦
2日目はリーグ順位に基づき決勝トーナメントを行い、順位を決定する。
勝ち点、得失点、総得点の順で決める。
総得点までが一緒の場合は、対象となるチーム同士での勝敗が決着があった場合、勝者が上位になる。
対象となるチーム同士が引き分けの場合は、PK戦で決着をつける。
- (2) 試合時間は30分(15-5-15)とする。
- (3) リーグ戦の順位決定は、勝ち点(勝ち3、引き分け1、負け0)、得失点差、総得点、当該チームの勝敗、ペナルティーキックの順で決定する。
- (4) 順位決定戦は既定の試合時間で勝負が決しない場合は、3名ずつのペナルティーキック戦を行う。

10 競技規則

- (1) 本大会要項に定められている事項を優先し、当該年度の(公財)日本サッカー協会「8人制競技規則」による。
但し、「8人制競技規則」に記載がない場合は2024/2025年サッカー競技規則による。
- (2) フィールドの大きさ
 - ・68m×50mを基本とする。
 - ・ペナルティーエリア=12m
 - ・ペナルティーマーク=8m
 - ・ペナルティーアーク=半径7m
 - ・センターサークル=半径7m
 - ・ゴールエリア=4m
 - ・ゴールの大きさ=少年用(W5m×H2.15m)
 - ・交代ゾーン(ベンチ側)=ハーフウェーラインから左右3m
- (3) 8人の競技者(うち1人はゴールキーパー)が試合に出場する。
 - ① 一方のチームが6人に満たない場合は、試合を開始しない。
 - ② 試合途中で怪我等による人数不足により6人に満たなくなった場合には、試合は不成立となる。
 - ③ ①の場合、6人に満たなくなったチームが得点0対3で敗戦したものとする。
 - ④ ②の場合、6人に満たなくなったチームが得点0対3で敗戦もしくはその時点の得点を選択する
- (4) 試合球は大会事務局で用意し、(株)ミカサ検定球ALMUNDO(FT450B)を使用する。
- (5) 交代要員はベンチ入りしたすべての選手とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。
交代の回数は制限されない。(交代要員はユニフォームと異なる上着(ビブス等)を着用すること。)
- (6) 競技者が交代要員と交代する場合、次のとおり行う。
 - ① 交代が行われることについて、事前に審判員に通知する必要はない。
 - ② 交代して退く競技者は交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ③ 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ④ 交代は、ボールがインプレー中またはアウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
 - ⑤ ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合停止中に入替わる。
- (6) ベンチに入ることができる人数は15名まで(交代要員12名、引率指導者3名)とする。

- (7)負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場できる人数：2名以内
(8)ゲーム中にベンチより戦術的指示、指導、アドバイスをやるのはJFA公認指導ライセンス保有者のみ。
又、ベンチから立って指示できるのは1名のみ。

11 微 罰

- (1)警 告：本大会の異なる試合で警告を2回受けた者は次の試合に出場できない。
なお、警告の累積による出場停止を繰り返した場合、2度目以降も1試合の出場停止処分とする。
ただし、違反行為の内容によっては、追加的処分を（公財）日本サッカー協会懲罰規程に基づき、
（公財）茨城県サッカー協会第4種委員会内規律・フェアプレー部で協議し、
（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会が決定する。
同一試合で2回警告による退場を命じられた選手は、次の試合1試合の出場停止処分を受ける。
ただし、試合出場停止により処分されたものとし2回の警告は累積されない。
- (2)退 場：次の試合に出場できない。以後の処置は（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会に委ねる。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充
することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
- (3)チーム役員：監督・コーチ他が判定に対して異議を唱えたり、選手に対して罵声など
ネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に再度同様な行為があった
場合は、主審の判断により退席処分とし、会場内にいることを認めない。
その後の処置は（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会に委ねる。
- (4)累積された警告での出場停止処分及び警告の累積は、本大会時をもって効力を失う。
- (5)出場資格がない選手が本リーグ戦の試合に出場した場合、それが判明した時点で没収試合とし、
当該チームの0-3の敗戦として試合を打ち切る。この該当チームの懲罰については
（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する
- (6)メンバー表と選手証（Web から出力された選手証チーム一覧でも可）が規定時間までに提示ができないチーム
に関しては、それが判明した時点で参加資格がないチームとみなし 0-3 の不戦敗とする。
この該当チームの懲罰については（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する
- (7)指導者ライセンス保持者（D 級以上）1 名、有資格審判員 1 名が帯同出来ないチームに関しては、
それが判明した時点で参加資格のないチームとみなし、当該チームの不戦敗とする。
この該当チームの懲罰については（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する
- (8)本要項内に規定されたユニフォームを準備できなかった時点で参加資格のないチームとみなし、
当該チームの0-3不戦敗とする。
この該当チームの懲罰については（公財）茨城県サッカー協会規律・フェアプレー委員会にて協議の上決定する

12 審 判

- (1) 審判は主審1人・補助審判1人で行う。
(2) 参加チームに割当てし、チーム所属の有資格者が行うことを原則とする。
(3) 審判服を着用すること。

13 ユニフォーム

- (1)アンダーシャツの着用は、ユニフォームの袖の主たる色と同色を基本とするが、チーム内で同色のアンダーシャツであれば、ユニ
フォームと異色であっても着用を認める。
アンダーショーツも同様の考え方とする。尚、チーム内に、着用している競技者と着用していない競技者がいても構わない。
- (2)メンバー表に記載されているゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして試合に出場する場合、メンバー表に記載されているその
フィールドプレーヤーとしての番号のユニフォームを着用すること。
- (3)フィールドプレーヤーがゴールキーパーとして試合に出場する場合、フィールドプレーヤーは固有の番号と同じ番号の副ユニフォー
ムの着用を認める。
その際の着用は上衣のみで良い。また、相手チームのユニフォームと色彩が類似する可能性がある為、試合前のマッチミーティング
において、予め打ち合わせしておく事。
副ユニフォームも相手チームと調整が出来ないときは、ゴールキーパーが着用していたユニフォームもしくは同色の上衣のみフィー
ルドプレーヤーが着用することを認める。尚、前途の対応がすべて困難な場合のみ、最終的な手段としてビブスの着用を考慮する
- (4)ゴールキーパーのユニフォームについて、当日にゴールキーパーが欠場する場合であっても必ずゴールキーパーのユニフォームは試
合会場へ持参すること。また、ゴールキーパーは試合開始時にはゴールキーパーのユニフォームまたは副ユニフォーム、ゴール
キーパーユニフォームの上衣を着用すること。
- (5)ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、正のほかに副として正と色彩の異なり判別しやすいユニフォームを用意し、
各試合に必ず携行すること。
- (6)ユニフォームの決定は主審が両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。また、主審は両チーム
の各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ、ソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (7)ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合はソックスと同色でなくても良い。
- (8)ユニフォームの張り番については複数名が張り番号の縫合は、チーム内統一でユニフォームと同じ色の生地と同様の書体の番号を張り
付け、生地の4辺から手指が入らないように安全に縫い付けられたものとする。尚、張り番号が1名の場合は、生地の4辺が安全に
縫い付けられていれば、生地の色や書体は問わない。

14 参 加 申 込

- (1) 参加確認書及び参加申込書は、それぞれ所定の用紙に必要事項を記入のうえ、メール添付
にて大会事務局宛て送付のこと。
参加可否締切日：5月5日（祝・月）
参加申込書締切日：5月17日（土）
- (2) 参加費 5,000円
5月17日（土）までに、下記の口座へ振り込みとし、依頼人欄にチーム名を必ず入れること。